

しなののうた

沖縄にオスプレイ来るを反対の人々の声骨身に沁みる



杉田小百合

しなののうた

穏やかな春の日差しの注ぐなか轟音街を攬いて行きぬ

杉田小百合



しなののうた

不意打ちをくらうがごとし轟音に何が起きたか茫然とする



杉田小百合

しなののうた

故郷に
いまだ
残れる
壕あり
て怯え
る日々
の蘇り
くる

杉田小百合



しなののうた

長野にもオスプレイ飛ぶ世の中を静かなる街が騒然となる



杉田小百合